平成25年度第1回JaLC運営委員会議事要旨

開催要旨

日　　時 ： 平成25年度5月8日（水）10:00～12:00
場　　所 ： 独立行政法人科学技術振興機構　東京本部　3階会議室
出席者（敬称略）： 国立情報学研究所　武田英明（委員長）
国立国会図書館　佐藤毅彦（委員）
独立行政法人物質・材料研究機構　谷藤幹子（委員）
独立行政法人科学技術振興機構　水野充（委員）
坂内悟、斎藤隆行、加藤斉史、余頃祐介、青山幸太、國岡崇生（事務局）
議事概要 ： 1.　平成24年度JaLC実施報告＜報告＞
2.　平成25年度JaLC実施計画＜審議＞
3.　分科会の設置＜審議＞
4.　CrossRefとの契約についての状況報告＜報告＞
5.　準会員独自prefixの発行審査＜審議＞

議事概要

１．「平成24年度JaLC実施報告」について事務局より報告があった。

・JaLC運用に向けた協力覚書を共同運営機関4機関（独立行政法人　物質・材料研究機構、大学共同利用機関法人　情報・システム研究機構　国立情報学研究所、国立国会図書館、独立行政法人科学技術振興機構）で平成24年5月28日に締結した。また、運営委員会及び分科会を開催し、JaLCの運営方針や普及方法等について審議し、運営規則や参加規約を制定した。平成25年5月からCrossRef DOI登録を、また平成25年2月末よりJ-STAGE登載の日本語論文を中心にJaLC DOI登録をそれぞれ開始した。

・今後、平成24年度実施報告に会議開催の実績を追記し、JaLCのWebサイトで事務局が公開する。

２．「平成25年度JaLC実施計画」について審議を行った。

・始動年度の24年度における活動を踏まえ、目標を明示した25年度計画とするべきであり、全体計画・実施計画、リソース（人員や予算）計画、各分科会の実施計画や拡張部分、JaLCとしての受け入れフォーマットを考える等、業務フローを確立して運用を行うべきである。また、会員から利用できるようなインターフェースをどこまで整備するかを業務としての目標にする。

・JaLCは個別対応ではなく一般化を目指すべき。そのための参加機関とJaLCの役割分担を明確にする。

３．「分科会の設置」について審議を行った。

・JaLCの機能拡張について実際の運用を踏まえた開発を行うため、検討項目毎に特化した分科会を設置する。設置する分科会は以下の３つとすることとなった。

・対象コンテンツの拡大検討分科会
・システム技術分科会

・普及分科会

4．「CrossRef との契約についての状況報告」について事務局より報告があった。

現在、CrossRef と JaLC 事務局では下記 2 つの契約を締結するための調整を進めている。

①PILA Sponsoring Member Agreement（JaLC 会員が JaLC を通じ CrossRef DOI を登録できるようにするため、JaLC が CrossRef 会員になる）

②CROSSREF AFFILIATE AGREEMENT（CrossRef の保有するメタ情報を取得し、CiNii や JDreamⅢ等の情報検索サービス実施機関に提供するため、JaLC が CrossRef の Affiliate になる）

①について、これまで CrossRef と J-STAGE で契約していたものを CrossRef と JaLC との契約に変更する。②については、Affiliate の範囲に JaLC 準会員や下位団体も含まれることを明確にするため、契約書の文面を調整中である。

5．「準会員独自 prefix の発行審査」について審議を行い、J-STAGE 利用学協会 655 学協会について了承された。

正会員である JST の準会員となる J-STAGE 利用学協会について、JST と J-STAGE 利用学協会との覚書締結等の手続きが完了した学協会から順次 prefix 発行審査を行っており、今回 655 学協会が承認された。なお、今までに平成 25 年 2 月 26 日第 1 回審査で 258 学協会、平成 25 年 3 月 12 日第 2 回審査で 41 学協会をすでに了承済である。

以　上